

**復興ニュース**では… 広報あさくらの発行にあわせて、復旧・復興に向けた市の取り組み状況とその進捗状況などを随時お知らせしていきます。

## ☑平成30年7月豪雨の災害対応・被害状況

平成30年7月豪雨により、被害にあわれた皆さまに心からお見舞い申し上げます。西日本の広い範囲で記録的な被害が発生しています。朝倉市でも、7月6日に大雨特別警報が発表されるなど、広範囲の災害となりました。市では、国・県など関係機関の協力のもと進めてきた応急対策や早め早めの避難情報の発令など、ハード・ソフト両面の対策により幸いにも人的被害を発生させることなく、梅雨明けを迎えることができました。本号では、改めて災害対応・被害状況についてお知らせします。

### 【朝倉市災害警戒本部発表】

人的・住家被害や特記事項（7月31日現在 速報値）	
人的被害	なし
住家被害	半壊（床上浸水含む）8件、床下浸水23件
避難所 避難者	最大時11カ所 911世帯2005人（7月6日21時） ※7月13日18時にすべての避難所を閉鎖
その他の被害（7月13日現在 速報値）	
公共土木被害	道路30件、橋りょう2件、河川20件
農林被害	農地70件、農林施設など73件
その他の被害	公園5件、下水道関連施設6件



▲小石原川・長谷山橋の西側（7月7日撮影）

## 平成30年7月豪雨の被災地へ職員を派遣 **恩返し**

昨年の九州北部豪雨災害の経験を生かした助言、被災状況や災害対応状況の把握、情報収集など朝倉市ができる限りの支援を行っています。

- 1回目の派遣…岡山県総社市へ2人（7月13日～16日）
- 2回目の派遣…愛媛県大洲市へ2人（7月20日～23日）
- ボランティアの派遣…広島県安芸郡坂町へ約20人（8月4日）

※8月2日時点での情報で、市社協職員を含む。

※市では、被災された人々を支援するための義援金箱を本庁・各支所等に設置しています。



▲総社市への出発式

## 福岡県 朝倉県土災害事業センターから 桂川流域4河川の改良復旧が本格始動します

桂川流域の4河川（桂川、荷原川、新立川、妙見川）では、昨年7月の九州北部豪雨災害を受け、これまでに災害防止・軽減に向けた改良復旧の基本計画策定を進めてきました。このたび、その基本計画が概ね固まり、流域内の各地区で住民の皆さんを対象とした説明会を順次開催しています。

### ■今後の進め方

今後、河川周辺で井戸調査など必要な調査・測量を行い、用地買収を行っていきます。一日も早い復旧・復興に努めますので、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

☎ 朝倉県土災害事業センター災害河川第2課（☎ 41-2606）

